

**「日本循環器学会 2025年度 心不全療養指導士 認定試験」  
作業療法士 唐牛理達さん が見事合格!!!**

**当院初!**

## 心不全療養指導士とは?

心不全は患者自身により予防可能な面が多い疾患である事から、患者本人及び家族などの介護者に正確な知識と技術を身につけて頂き、発症・増悪予防のためのセルフケアと療養を継続して頂く事を支援する資格です。

また、個々の医療専門職がそれぞれの専門領域だけで適切な療養指導を実施する事は困難かつ非効率的であり、多職種との連携さらには地域医療との連携も必要であり、心不全療養指導士はこのような患者中心の**チーム医療のキープレイヤー**となる事を期待されている資格でもあります。

## 資格取得までの流れ

- 4/1~日本循環器学会入会
- 4/1~7/25 eラーニング受講
- 6/1~7/31 オンライン申請
- \* 期日内に症例報告5例を登録
- 8/1~8/10 書面にて関連書類を提出
- 11/10頃 書類審査の可否発表
- 12/第3日曜日(例年) 認定試験
- 翌年: 3月頃に認定試験の合格発表
- \* 認定後は5年毎の更新

## ~診療報酬改定に関して~

2026年度診療報酬改定で、「心不全再入院予防継続管理料」が新設されました。入院中に運動療法(つまり心リハ)を実施している患者で、**多職種で心不全の再入院予防について取り組んだ場合算定するものです。**

心不全療養指導士や心臓リハビリテーション指導士などを中心に多職種で心不全指導を行うことが今後重要視されています。

## 今後の展望

現在心不全患者が100万人いると推計されておりますが、超高齢化の進行により少なくとも2035年まではさらに増え続けると想定され、「**心不全パンデミック**」と呼ばれております。この困難な時代を医療職として乗り切っていく為に、他職種でも心不全療養指導士の仲間を増やし、当院の強み・特色とするだけでなく、地域の方・他医療機関に頼られる存在へと進んでいきたいと思っております。



## 他病院との連携

青森県では、県内の医療従事者・医療機関と連携し、心不全患者のシームレスな移行期支援や地域での活動状況共有等を目的に、**年に数回心不全療養指導士 network meeting**を実施し、県内の各会場を繋ぎ学習会や意見交換等を行っております。

**第4回心不全療養指導士 Network Meeting**  
~心不全パンデミックに立ち向かう~

2026.03/4(水) 開催会場 弘前大学医学部附属病院 多目的棟 多目的室1

Opening Remarks 17:30~17:35  
 青森県 弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病総合支援センター長 高田 泰史 先生

Short Lecture 17:35~18:05 (各15分)  
 『心不全療養指導~看護師視点での服薬管理~』  
 弘前大学医学部附属病院 看護科/心不全療養指導士 鈴木 彩 先生  
 『心不全患者に薬の大切さを伝えるか~病棟薬剤師の関わり~』  
 つがる総合病院 薬剤科/心不全療養指導士 野上 友希 先生

Meeting 18:05~18:30  
 テーマ 『服薬管理に関する療養指導』  
 弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病総合支援センター 堀田 西 先生

連絡方法  
 本会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催はオンラインで行われます。  
 1. QRコード: 960-6702-6323  
 2. パスワード: 0304  
 3. 詳細はこちらをご覧ください: <https://boehrfoster.zoom.us/j/96067026323>  
 4. 詳細はこちらをご覧ください: <https://boehrfoster.zoom.us/j/96067026323>

主催: 青森県 弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病総合支援センター  
 日本心不全療養指導士協会